



































チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念を明文化 ・経営者が理念を持ち、経営理念、経営目標を部・課・社員等へ細分化して共有。具体的には、トップメッセージの発信や社員説明会・対話会、社内メールおよび社内サイト活用等を活用し、全社員へ浸透促進を図り、事業活動へ実践								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・NTTグループ企業倫理方針を定め、法令順守の体制・仕組みを構築 ・社内外の企業倫理ヘルプライン規定を制定 ・社内HPで法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信 ・コンプライアンス研修を実施																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・代表取締役副社長を委員長とする「ESG推進委員会」を設置。委員会事務局はNTT西日本総務人事部のESG推進室が担当し、熊本支店事業推進室が各種委員会とも連携を図りながら組織横断的な体制を構築																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、商標等知的財産権を取得・管理を実施 ・知的財産の保護の理解促進の社内研修を実施								8.2 8.3	9							16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備 ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・ICTを活用した地域社会の課題解決に向けて、関連する自治体・企業等のステークホルダーと自社の経営幹部及び事業責任者等が意見交換会を開催 地域課題や今後の展望等を議論するとともに、自社への要望等を把握し、ステークホルダーの期待に応えるよう取組みを推進															16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・意思決定を担う経営幹部への育成計画、研修等の機会を提供 ・事業承継について、高齢化による退職社員増に伴う稼働負荷の軽減に向けた生成AI等の活用を推進								8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●		1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与(研修の実施、相談窓口の設置)				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・社員向けの労働安全衛生講習会の実施、社内ホームページ等を活用して周知徹底を実施			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を実施					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働基準法等の改正内容を経営者を含め共有している。長時間労働は正のため、生産性の高い働き方に向けた管理者・社員の意識改革、効果的・効率的に会議体を運営。また、PC利用時間の管理等による適切な勤務時間管理やリモートワーク及び休暇推進、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を実施。これらの対応により、生産性の高い働き方とワークインライフの実現に向けた取組みを実施			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・職務や役割に応じた研修体系を整備し実施 ・自己研鑽を支援する制度を整備(資格取得奨励金・通信教育会社支援金、等)				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・社員の健康の維持・増進に取り組んでおり、「健康経営優良法人2022(大規模法人部門(ホワイト500))」に認定 ・熊本支店と九州健康管理センタの連携による特定健診受診促進、特定保健指導・過重労働面談等を実施			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性活躍の推進・障がい者雇用の促進 ・働く場所と時間にとらわれない多様な働き方と、社員の能力や希望を活かした業務にチャレンジできる機会の推進 ・男性社員の育児休暇取得推進等の両立支援				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・感染予防対策として強化された、テレワークの推進、WEB会議の推進、フレックスタイム利用による時差出勤等も、ごく通常の働き方として認知され実施			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・社内のデジタル人材育成プログラムを策定し、社内認定制度や、生成AI の基礎的学習の全社員受講など、デジタル人材の育成を体系的に整備								8	9.1		11	12					
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。		●				3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物最終処分率低減をめざし目標を設定し、達成に向けて、通信設備のリユース・リサイクルの推進を図るとともに、装置梱包用プラスチックの廃止や、廃棄物については関連法令を遵守し適切に処理を行うなど、環境汚染予防を実施			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本支店におけるビル毎の電気使用量把握、社用車のガソリン使用量把握、ビルの非常用電源の発電量把握等、エネルギー使用量全体の把握により事業のエネルギー効率化の目標を策定。HPで公表するとともに、エネルギー効率の高い通信設備の導入等及び削減に向けた取組みを推進 ・上記電力データ等をもとに、算出係数に乗じて算出した温室効果ガス排出量を把握し、削減率の目標を策定。HPで公表するとともに、非化石証書の調達等、削減に向けて取組みを推進							7.3					13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・電力データ等をもとに温室効果ガス排出量を把握し、削減率の目標を策定 ・デマンドレスポンスを実施し電力使用量抑制取組みを推進		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・電報サービスにおける環境にやさしい紙(再生紙)での提供、また通信機器配送時のビニール袋使用減によりプラスチック削減にも貢献するなど、環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮 ・生物多様性を保全するための活動「みどりいっぱいプロジェクト」を公益財団等と連携しながら展開、社員・その家族・退職者等が参加						6.6							14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・物流、工事、運用、サービス、商品の提供といった事業活動において、マテリアルフローを整備し、積極的に3Rの推進 ・機器リユースを推進し、リユース率の目標を策定し、HPで公表									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・NTT西日本グループの事業形態として、事業で水資源を消費することはほとんど無く、大きくはオフィスでの生活用水として消費している。この生活用水の使用量を削減する取り組みとして、自動水栓による手洗い場の節水や、トイレの節水等の取組みを実施		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15			17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・脱炭素社会の実現に向けて、通信事業のエネルギー効率向上と社用車のEV化を推進 ・資源循環型社会の観点では、建設廃棄物の最終処分率を改善し、リサイクル率向上に向けて取組みを実施 ・NTT西日本としてICP(インターナルカーボンプライシング制度)を導入									9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・社員からの提供品や消費期限の迫った災害備蓄品等を定期的にフードバンクへ寄贈	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・会社敷地内花壇において植栽等による緑の保全、管理を実施											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・機械室空調における高効率空調への更改を推進							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●	・社用車のEV化に取り組み、EV化率の目標を策定し、HPで公表									9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●	・NTTグループ2040カーボンニュートラル目標(再生可能エネルギー利用を拡大し、温室効果ガスを45%削減)(IOWN導入により電力消費量を削減し、温室効果ガスを45%削減)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

チャレンジ項目記入数

10

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・お客さまが高品質で安定した通信サービスをお使いいただけるよう、24時間365日、通信サービスを監視するネットワークオペレーションセンターにて、リアルタイムに通信サービスの状況を一元的に監視・制御するとともに、予期せぬトラブルが発生した際にも迅速かつ的確に回復措置がとれるよう努めており、重大事故発生件数・安定サービス提供率をHPで公開			3.9					9			12.4							
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・耳や言葉の不自由な方が、外出先で電話連絡が必要となった際に、用件や連絡先などを書いて、近くの人に協力をお願いするためのツール「電話お願い手帳」等を自治体等へ継続的に寄贈 ・九品寺ビル入口等にはスロープや手すりを設け、誰もが入室し易い建物構造(入口)を整備								9.1	10	11.7						17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●			2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・阿蘇の棚田稲作(地下水涵養)ボランティア活動等へ積極的に参加し、その参加模様を熊本支店HPで公開 ・「火の国まつり」等地域行事へ会社としての積極的参加	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・南海トラフ地震等を想定した定期的な防災訓練の実施 ・事業所において、食料や資機材を備蓄 ・事業継続計画(BCP)を策定				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・BCPを作成し、定期的に災害発生訓練を実施 ・作業現場の安全パトロール、安全点検、安全講習会等を実施	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・自業務とSDGsとの関連を意識し、社内の浸透に取り組み、全社員が業務とSDGsの関係理解のため職場ディスカッションや全社員Web研修を実施 ・NTT西日本グループのサステナビリティに対する考え方や主な取組みを幅広いステークホルダーの皆さまに報告することを目的に「サステナビリティレポート」を作成・公開	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●					4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17